

# まんが!

まんが:じっく

## 第21話 ～捨てる神あれば拾う神あり～

主人公の岩井耕太君は、現在地元の小学校に通う男の子。将来新聞記者になるため、地元の農畜産物の魅力について、勉強中です。農業にはまだまだ知られていないことがたくさん！今月はスピニッチ・ファイヤーが登場。今や大人気の野菜、ホウレンソウには、捨てる部分なんてありません！隅から隅まで、味わっちゃってください！燃えるぜ！



オレのアタマの葉っぱのカタチはファイヤー♪冬空焦がすぜエス

ロックかな...? よく分からない歌だなあ!...

よう 耕太! オレの歌サイコーだろ?

え... うーん

この眼帯はホウレンソウがまだあんまり有名じゃなかった頃に食べてくれた伊達政宗公を偲んで着けてるんだ!

政宗か!?

良い詞? だよね その眼帯もカッコいいし... だろっ

スピニッチ・ファイヤー



今や人気のホウレンソウだけど明治時代くらいまでは日本人の嗜好に合わず普及しなかったんだよね...

それが昭和に入ると一転して人気者に! オレの秘めた栄養価が認められてバラ色人生さっっ

今や大人気同士

ちなみにどんな栄養があるの?

昔は不人気同士



全てを公表しちゃうとアーティストとしての魅力が半減しちゃうからオススメを2つ!

まず鉄分! ホウレンソウに含まれる葉酸とビタミンCが吸収をサポートしてくれるので貧血予防になるぜ!

しかもビタミンCは美肌でおなじみの成分!!

そして根元の赤い部分には骨を丈夫にするマンガン含有! しかも抗酸化作用まで!

根元を捨てちゃもったいないぜ

二人とも今ままで捨てていたな?